

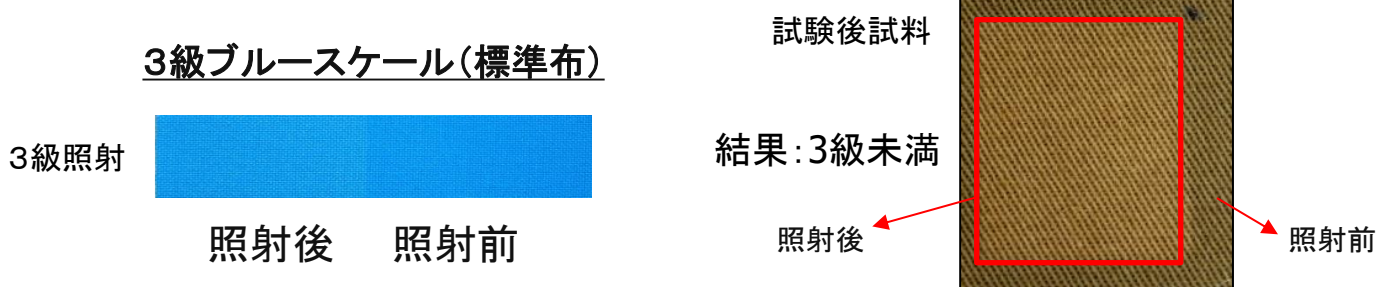
【シリーズ】 報告書を読み解く～その試験結果どういう意味～

②耐光試験の判定

日常生活において、外出中や洗濯物として干している時に日光により衣服等の色に変色することがあります。事前にこのような変色が発生しないかを調べることで、消費者に安心して製品を提供することができます。その試験方法として耐光試験を行います。

耐光試験は他の染色堅ろう度試験の判定と異なり、ブルースケールという耐光専用の標準比較布と比べて級数判定をします。ここでは、判定方法の基本について紹介します

3級試験の場合



★耐光堅ろう度の3級試験とは？

- ①3級ブルースケールと試験片をセットし、耐光試験機で照射開始。
- ②3級ブルースケールが、変退色用グレースケールの4級に退色するまで照射する。
- ③照射前後の試験片の変退色差を、ブルースケールの変退色差と比較して判定します。ブルースケールより悪ければ「3級未満」、同程度であれば「3級」、良ければ、「3级以上」という判定になります。

耐光試験の結果の見方	3級照射試験		/	4級照射試験	
3級照射（約6時間）	3級未満	3級		3级以上	
4級照射（約20時間）				4級未満	4級以上
報告書に記載される結果	3級未満	3級	3-4級	4級	4级以上

一般目安値: 3级以上
(アウター: 4级以上)

◎一般目安値に達していないと...

例えば洗濯して外で干して日光が当たる部位と当たらない部位で色差の違いが発生するリスクが考えられる。



HPでは試験方法を紹介。QRコードまたは、下記の文字をクリックして参照ください。
[ボーケンのHPから閲覧する。](#)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

所在地 〒135-0001 東京都江東区毛利1-12-1
担当 中尾 mail: s-nakao@boken.or.jp

X(イクス) @boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！みなさまのフォローお待ちしております！

